



二中だより



二中みらい集会（人権集会）を行いました！

12月13日（金）「二中みらい集会（人権集会）」を開催しました。コロナ禍の行事自粛の時期がありましたので、4年ぶりの開催となりました。

まず、人権委員長の井坂海星さんが「ここにいる全員の明るい未来のため、この二中みらい集会をみんなで作りあげましょう。」と述べ、1年生、2年生、3年生の順に、学年テーマに従って発表が行われました。その後、人権委員会の取組を紹介し、最後に意見交換が行われました。

人権委員長 井坂海星さんのあいさつ

私たちは、それぞれの学年で、様々な人権学習をしてきました。今日の集会は、これまでの人権学習の振り返りやまとめ、学んだことを啓発するという目的があります。1年生は「ともに生きる」、2年生は「差別のない社会の実現に向けて」、3年生は「よりよく生きる」というテーマで発表します。

生徒のみなさんは発表を真剣に聞き、自分だったらどうするか、どうすることが正しいかをよく考えながら、人権についてさらに考えを深められる、有意義な時間にしてください。保護者のみなさま、お忙しい中お越しいただき、ありがとうございます。最後まで温かく見守ってください。

ここにいる全員の明るい未来のため、この二中みらい集会をみんなで作りあげましょう。

1年生の発表

テーマ：ともに生きる

1年生は、「総合的な学習の時間」で、障がい者問題について取り組んでいます。そこで、「アイマスク体験」「イヤーマフ体験」「車椅子体験」などにより、さまざまな障がいのある人たちの生活を実体験して、自分たちの生活を振り返っていました。二中は災害時の避難場所になっているにもかかわらず、バリアフリーやユニバーサルデザイン化が遅れている現実も知りました。ユニバーサルデザイン7原則についても調べ発表してくれました。最後に、菅田将暉さんの「虹」を全員で歌いました。

2年生の発表

テーマ：差別のない社会の実現に向けて

2年生は、ハンセン病についての学習から学んだことを発表しました。ハンセン病回復者に対する差別は、現在も残っている差別です。医学的・科学的に正しい知識を持たずに、見た目や偏見によって、差別政策が堂々で行われてきました。しかし、それが誤った政策であり、国も認めたとにもかかわらず、未だに故郷に帰る事ができなかったり、差別を受け続けている人たちがいます。「邑久長島大橋一人間回復の橋」の学習等を通して、相手を知る事の大切さ、正しい情報で判断しなければならないこと、そして一層学び続けることの大切さに気づき、その想いを発表してくれました。

3年生の発表

テーマ：よりよく生きる

3年生は、命が誕生し、成長する中で出会うさまざまなできごとを寸劇を通して考えさせてくれました。特に就職差別や結婚差別と向き合うことになる主人公がどのようにしてそれを乗り越えていくか。私たちの生き方自体を考えさせられます。長い人生、さまざまな困難に出会うことが考えられます。そんなとき、一人で悩まず、身近な友人に相談する。それが解決に繋がることがあるんだということを、訴えてくれました。最後に、アンジェラ・アキさんの「手紙ー拝啓15の君へ」を全員で歌いました。



どの学年も一人一役で行われ、テーマに沿ってよく考えられていたと思います。意見交換も発言を求めて多くの人が手を上げていました。今回の学びを、これからの生活にしっかりと生かしていきましょう。

保育実習に行ってきました！ 11月26日（火）11月27日（水）

11月26日（火）、11月27日（水）に3年生が保育実習を行いました。11月26日（火）は3年1組が橘こどもセンターで、11月27日（水）は3年2組が桑野保育所でお世話になりました。目的は、「幼児と触れ合う体験を通して、幼児期の特性に気づく。」「幼児の生活や遊びに興味を持って工夫して関わる。」ことです。その他にも、幼児と触れ合うことで、感受性を育んだり、弱者に寄り添う気持ちを育んだりすることを狙いとしています。また、言語のコミュニケーションだけでは動かない異質な他者と触れ合うことで、過去の自分を見直したり、幼児に働きかけることを通して、育て・育てられることを学んだりします。最近の少子化により、幼い子どもと接することなく親になるケースも増えています。中学校（小学校や高等学校でも）での保育実習は、普段学ぶことのできないことを体験を通して学習できる、非常に貴重な時間となっています。

